

目次

第1章 序論

1 総合計画について

1 総合計画とは	1
2 計画策定の背景・目的	1
3 計画の構成	2
4 計画の期間	2

2 社会情勢の変化

1 人口減少・少子高齢化の進展	3
2 安全・安心意識の高まり	5
3 社会経済構造の変化	6
4 地方分権の進展と広域連携	7
5 「もやい」の精神による自助・共助・公助の推進	8
6 環境問題の深刻化	9
7 生涯学習の必要性の高まり	9
8 高度情報化の進展	10

3 前回計画の振り返り

1 前回計画の概要	11
2 主な施策実績	13
3 これまでの取り組み効果	17

4 安芸高田市の強みと課題

1 安芸高田市の強み	19
2 安芸高田市が抱える今後の課題	20

第2章 基本構想

1 将来像と目標人口

1 将来像	21
2 将来像の実現に向けた3つの挑戦	22
3 目標人口	24

2 政策体系..... 25

3 政策目標

目指す都市像1 人が集い育つまちづくりへの挑戦	26
目指す都市像2 安心して暮らせるまちづくりへの挑戦	27
目指す都市像3 地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦	28

4 計画の推進..... 29

第3章 基本計画

3-1 リーディングプロジェクト

若者の定住促進強化プロジェクト	30
地域経済の好循環推進プロジェクト	32
次代を切り拓く青少年育成プロジェクト	34
コミュニティ活動の高度化プロジェクト	36

3-2 分野別計画

I 人が集い育つまちづくりへの挑戦

I-1 自然と調和した快適な田園都市の形成

01 個性あるまちづくりの推進	38
02 円滑な道路交通網の整備	40
03 公共交通体系の整備	42
04 情報基盤の整備	44
05 上下水道の整備	46
06 住宅の整備	48

I-2 学ぶ文化の醸成

07 生きる力を育む教育の充実	50
08 家庭・地域に信頼される学校づくり	54
09 安全で豊かな教育環境の整備	56
10 生涯学習活動の充実	58
11 生涯学習環境の充実	62

I-3 子育て支援と就学前教育の充実

12 子育て環境の充実	64
13 就学前教育の充実	68

II 安心して暮らせるまちづくりへの挑戦

II-1 共に助け合う 安全・安心

14 消防体制の充実	70
15 防災体制の充実	74
16 防犯・安全の推進	76

II-2 支え合う福祉社会の実現と医療体制の充実

17 保健・健康づくりの推進	78
18 医療体制の充実	80
19 高齢者福祉の充実	82
20 障害者福祉の充実	86
21 住民福祉の充実	88

II-3 未来につなぐ自然環境

22 環境にやさしい社会の形成	90
23 循環型社会の構築と生活衛生対策の推進	92

Ⅲ 地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦

Ⅲ-1 安芸高田市の宝を磨く

24 歴史・文化の保護・継承と活用	94
25 トップスポーツの振興	96
26 観光・交流の振興	98

Ⅲ-2 協働によるまちづくりの推進

27 参加と協働によるまちづくりの推進	102
28 男女共同参画社会の推進	104
29 多文化共生の推進	106

Ⅲ-3 産業の活性化と地域経済の循環

30 農業の振興	108
31 林業・水産業の振興	112
32 商工業の振興	114
33 就労の促進	116

Ⅳ 計画の推進

34 行財政改革の推進	118
35 信頼される市政と広域連携の推進	120

第4章 資料編

1 諮問書・答申書	122
2 策定審議会	124
3 人口に関する補足資料	131
4 住民アンケート結果（18歳以上）	137
5 中高生アンケート結果	148
6 用語集	155

※用語集に掲載した単語は、本文中に*マークを付記しています。

リーディングプロジェクトの見方

リーディングプロジェクトは、安芸高田市における今後5年間の重点施策群で、将来像の実現に向け、重点的かつ分野横断的に取り組んでいく事柄を整理しています。

プロジェクトの概要と目的、シンボルロゴを整理しています。

若者の定住促進強化プロジェクト

本プロジェクトは、若者を中心とする働く場、住む場、育てる場の整備を総合的に進めることで、転入者と出生数の増加を図るとともに、転出者を極力抑制することにより、人口の減少に歯止めをかける取り組みです。

●プロジェクト化の背景と必要性
全国的な人口減少、少子高齢化が進む中、国は地方創生を掲げ、地方の人口維持・定住促進に向けた取り組みを本格的に進めつつあります。定住促進を進めるにあたっては、生活の糧を得るための「働く場」、暮らしの基本となる「住む場」、次世代をつなぐ「育てる場」の整備が不可欠です。「働く場」については、経済情勢の高速な変化、地方では雇用の場の確保が課題でしたが、今日、田舎暮らしに対する関心が高まる中、農業やサービス業（ICT、観光等）での就業・就業の機会が生まれるようになってきました。「住む場」においては、新築もさることながら、増える空き家の活用に関心が集まっています。「育てる場」では、田舎ならではのゆとりある保育環境が期待されています。一方、いざという時でも安心できる医療環境の充実が求められています。安芸高田市は、これまでも定住促進を重要課題として位置づけその解決に向けて取り組んできたところですが、これら以上にその推進を図るべく、これら3つの場の総合的な整備に取り組みます。

働く場を
整える

住む場を
整える

育てる場を
整える

定住人口の維持・増加へ！

30

プロジェクトの取り組み方針と、構成する主要施策を整理するとともに、各施策の分野別計画における掲載ページを整理しています。

●プロジェクトを構成する主要施策

区分	取り組み方針	構成する主要施策	
働く場を整える	若者や定年退職者の就業を促進するほか、ICTや観光等、サービス業を中心とした企業誘致、起業支援に取り組みます。また、雇用の創出の積極的な起しと情報発信に努め、就業機会の充実を図ります。	施策 118 担い手確保と就業支援	p110
		施策 130 企業立地の促進	p117
		施策 131 起業支援の充実	p117
住む場を整える	多様な居住ニーズに配慮した市営・市有住宅の整備を進めるほか、民間の地産地消支援、住宅整備に係る経済的支援に取り組みます。また、地域振興組織等との連携の下、空き家活用の促進を図ります。	施策 21 市営・市有住宅の整備推進	p49
		施策 22 良質な宅地・住宅の供給支援	p49
		施策 23 空き家の活用推進	p49
育てる場を整える	子育て相談・保育体制の充実、経済的支援の充実により、子育て世帯の負担軽減を図るほか、小児科や産婦人科、救急等の医療環境の充実に取り組み、安心して子育てできる環境整備に取り組みます。また、婚活支援にも取り組み、出会いの創出を図ります。	施策 47 相談・支援体制の充実	p66
		施策 48 幼児保育の充実	p66
		施策 49 子育て世帯の負担軽減の充実	p66
		施策 50 学童保育の充実	p66
		施策 51 経済的支援の充実	p66
		施策 52 婚活支援の充実	p81
		施策 73 受診機会の拡充	p81

序
基本構想
基本計画
実施計画

●プロジェクトの主要指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
総人口	30,217人	28,500人
U1ターン世代数	-	48組/年

31

プロジェクト化するにあたっての背景と必要性について整理するとともに、プロジェクトイメージ図を整理しています。





プロジェクトの主要指標について、現状値と目標値を整理しています。指標設定にあたっては、極力アウトカム指標（施策の実施により発生する効果・成果を表す指標）となるよう配慮しました。

分野別計画の見方

分野別計画は、今後5年間において行政が取り組むべき事柄を網羅的に整理したもので、35の施策目標ごとに、計145の具体的施策（公助）を整理しています。また、施策目標実現につながる自助・共助の取り組みについても整理をしています。

施策目標と取り組み方針、当該分野の現状と課題について整理しています。

施策目標の実現に向けた行政の取り組み（公助）を整理しています。プロジェクトを構成する施策には、以下のアイコンを表示しています。

-  若者の定住促進強化プロジェクト
-  地域経済の好循環推進プロジェクト
-  次代を切り拓く青少年育成プロジェクト
-  コミュニティ活動の高度化プロジェクト

16 防犯・安全の推進

○高齢者を対象とした交通安全対策の推進に取り組みます。
○地域による見守り・防犯（パトロール）を強化します。
○警察との連携の下、消費者被害の防止に努めます。

現状と課題

<交通安全>

- 安芸高田市では、交通安全教室等を通じて交通安全啓発に取り組んできたほか、高齢者（75歳以上）を対象とした運転免許自主返納制度*の周知に努めました。また、交通安全施設の計画的な整備を実施してきました。
- 安芸高田市における交通事故件数は増加傾向にあります。特に高齢者が事故に巻き込まれる事例が目立っており、ソフト・ハード両面の対策強化が求められています。
- 犯罪発生件数は減少傾向にありますが、自転車盗難、車上荒らし等は増加しており、引き続き防犯の推進に努める必要があります。

<消費者生活>

- インターネットショッピング等、販売手段の多様化に伴い、事業者と消費者間のトラブルは増加傾向にあります。訴訟件数についても、一時は減少傾向にありましたが、近年全国で再び増加しています。犯行は巧妙な手口で実行されるため、啓発は後進、の状況にあります。
- 安芸高田市では遠く2回、市民からの消費者相談を受け付けていますが、相談内容も多種多様化する中、専門的知識を有する相談員の継続的な確保が重要となっています。

<防犯>

- 安芸高田市では、安心して暮らせるまちづくりに向け、防犯啓発や地域安全推進員を中心とする青色防犯パトロール事業*等に取り組んできました。

目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
交通事故発生件数（年計）	141 件/年	減少を目指す
刑法犯認知件数（年計）	134 件/年	減少を目指す
防犯・安全対策に対する満足度（4点満点）	2.56	3.1

76

II. 安心して暮らせるまちづくりへの挑戦

II-1. 共に助け合う 安全・安心

具体的施策（公助）

施策62 交通安全の推進

- 安芸高田警察署との連携の下、高齢者を対象とした交通安全教室や運転免許自主返納制度の推進に努めます。
- 交通事故が多発する主要幹線道路等の取り組み強化や注意表示等の設置により、事故防止対策の強化を図ります。

施策63 防犯対策の充実

- 地域の安全と安心を確保するため、地域安全推進員制度や青色防犯パトロール事業等を通じて、犯罪防止の促進を図ります。
- 児童・生徒の安全を確保するため、学校や通学路の安全対策の充実を図ります。
- 子供110番の家等、地域ぐるみで犯罪から守る取り組みを促進します。

施策64 消費者保護の推進

- 警察等関係機関との連携により、最新情報を収集するとともに、迅速な情報提供を通じて意識啓発を推進し、消費者被害の防止に努めます。
- 消費者の苦情、相談の対応、消費トラブルや被害の解決・防止に向け、消費生活相談員体制の充実を図ります。

施策実現につながる自助・共助

- 保護者や地域の高齢者等が参加し、児童生徒の登下校の見守り活動や青色防犯パトロール活動を進めましょう。
- 市民は、地域での交通安全講習等に積極的に参加しましょう。

●交通事故発生件数及び刑法犯認知件数の推移

年度	交通事故発生件数	刑法犯認知件数
H21	123	110
H22	138	122
H23	127	127
H24	112	150
H25	141	134

出典：安芸高田警察署 調べ

77

施策効果を把握する指標を整理しています。指標設定の考え方は、リーディングプロジェクトと同様です。

施策実現につながる自助・共助の取り組み例を整理しています。